



中学校では、5月26日(月)、27日(火)に中間テストがありました。中学校1年生は、初めての定期テストでしたね。中学校のテスト様式に慣れましたか。授業、テスト、家庭学習等を通して、着実に自分の力を高めていきましょう。

小学校は、遠足や校外学習が多い時期になっています。見学や体験を通して、ものごとを見つめる力や考える力、学んだことを生かす力を高めていきましょう。

5月22日(木)に、小学校の児童会から、令和7年度の目指す学校が示されました。

【～みんなが認め合い ^{みとああんしん} 安心して過 ^すごせる学校～

あいさつ 思いやり チャレンジ】

「認め合う」は、人間関係を良好に保つために大切なことの一つです。お互いに良いところや持ち合わせている力、その人らしさを理解し合い、尊重し合うこと。こうすることであたたかく、潤いのある人間関係が築かれる。そんな関係が築かれていれば、みんな安心して過ごせるよね。こんな学校をみんなでつくりましょうと呼びかけてくれました。

大切にしたい言葉を3つ示してくれました。「さくら日和第3号」でお伝えした、中学校生徒会から提示された大切な言葉と連携していますね。あいさつは、「相手に近づき、心を開くこと」という意味を捉え、生徒会、児童会ともに大切にしようという意見が一致しましたね。思いやりは、「友情」「協力」「個性」と連携できています。私が話している「徳の心と恕の心」にもつながります。チャレンジは、「意思」「努力」と連携できています。

先生方が発行している通信では、「挑戦」という言葉がよく書かれています。私たちは、経験を通して学ぶことがたくさんあります。失敗する経験もありますが、失敗を通して、自分で自分を育てていくたくましい力を私たちは持ち合わせています。このたくましい力は、チャレンジしてこそ、挑戦してこそ大いに発揮される力ですよ。自分を成長させるために、ちょっと難しそうなことにでも取り組んでごらんと先生方は、みんなにエールを送っているのでしょう。

【感謝の心】

大切にしたい言葉に、私は「感謝」を加えたいと思います。私たちは、助け合い、協力し合って生きています。相手からのうれしい助けや見守り、支えに気づき、感謝の心を表し、お互いに届け合うこともみんなが認め合い、尊重しあえる関係につながるのではないかと考えます。

近くで自分を支えてくれている人へ、社会の中でお世話になっている人へ、私たちを育ててくれている自然や環境へ、感謝の気持ちを素直に届けられるような人に成長して欲しい。そして、いずれ自分がだれかを支えられる人に成長して欲しいと思います。

【草刈りボランティアの皆さまへ 感謝】

5月26日(月)午後4時から、地域学校協働活動の草刈り支援の方々を中心に、学校内及び学校周辺の草刈りをしてくださいました。

今年は草の成長が早く、みるみるうちに草丈が伸び、草が茂る範囲が広がっています。学校だけでは十分に対応できないところでしたが、ボランティアの皆さまが必要箇所の大部分を草刈りしてくださいました。おかげさまで、子どもたちが活動しやすくなりました。本当にありがとうございました。

私は、「ありがとうございます。」といった感謝の言葉は、あいさつの一つだと考えています。「おはようございます。」「さようなら。」と違うところは、いつ、どこで言う言葉なのか決まっていなくていいことだと思います。

例えば、「おはようございます。」は、朝に見守りしてくださっている地域の方や警察の方へ、教室の朝の会のときに、といった、決まった場面で伝えることが多いです。でも、「ありがとう。」は、相手が自分を支えてくれたときに、みんなが通る道や通路を掃除している人を見かけたときに、といった、突然に起こる場面で伝えることが多いです。

私は、吉野さくら学園のみんなが、このように突然起こる場面に、素直に「ありがとう。」と言える人になってほしいです。どんな場面でも柔軟に対応して必要とされる力を発揮し、だれとでも協調できる。このような力を育むような教育活動に取り組んでいきたいです。

【小学校6年生修学旅行（6月1日～2日）】

行き先は広島です。

1日目。建物が建ち並ぶ広島の街のなかから、突然現れる原爆ドーム。この場所だけ時間が止まっているように子どもたちは感じたようでした。原爆の子の像前で平和セレモニーで、自分たちでつくった平和宣言を全員で述べ、身のまわりから平和を守る取組を始めていく気持ちを高めました。ガイドさんの説明を聞きながらの平和公園巡り。時間をめいっぱい使った原爆資料館見学等、実りある平和学習をすすめました。

2日目。前日の夕方に一度宮島に渡りました。そのときは干潮の時間だったので歩いて厳島神社の大鳥居に行けたのですが、2日目の朝は満潮に向かう時間だったので、大鳥居は海の上に佇んでいました。厳島神社と宮島水族館の見学をしてから、水族館内や宮島商店街内で買い物を楽しみました。

宮島商店街の店員さんから、「黄色の帽子の学校（吉野小学校だけ、黄帽をかぶって宮島商店街で買い物をしていました）の子どもたち、素直でいい子ですね。声をかけると、とても愛想がよくて、いい返答してくれるんです。」と声をかけてくださいました。うれしかったです。

マナーを守り、自分たちで行く修学旅行というめあてを、みんなが意識できていた修学旅行でしたね。

大切な経験として心に刻み込まれたことでしょう。一緒に修学旅行に行けてうれしかったです。

【中学校部活動 郡中体・発表会】

普段から取り組んでいる部活動でつけた力を試す大会や発表会が、6月上旬にありました。

大会や発表会の本番では、これまでの活動でつけた力がそのまま出せるとは限りません。場所が変わったり、本番前に緊張したりすることで、普段ならできていることができない場面もあるものです。そんな場面でも、いつもと変わらずやれることがあります。それは、一生懸命取り組むこと。思い通りにいかない場面でも、最後の場面まで諦めずにせいっぱい力を出すことです。

郡中体や発表会をいくつか見せてもらいました。一生懸命取り組み、諦めない吉野中生徒の姿をたくさんみせてもらいました。仲間の声援を受けて、普段以上の力が出せた生徒もいたことでしょう。

普段の学びや生活でつけた力が部活動で生かされます。また、部活動でつけた力も、普段の学びや生活に生かすことができます。つけた力の生かしどころをしっかりと捉え、自分の力をどんどん高めていきましょう。

【ハコネウツギの花が咲きました アジサイの花も咲きました】

児童生徒玄関の運動場側に、青々とした葉をたたえたシロヤマザクラの苗木約30本が置いてあります。吉野さくら学園の桜の活動を、みんなが身近に感じられるように置いてあります。

桜の苗木たちの隅っこに一つ、ハコネウツギが植わっている鉢が置いてあります。今年も花が咲きました。

ハコネウツギの花の特長は、はじめ白色だった花がピンク色になり、次第に赤色（紅色）に変わっていくところです。不思議な植物ですね。こうした特徴を捉えて、ハコネウツギはゲンペイウツギとも呼ばれます。ゲンペイとは、源平です。今から約850年前の平安時代末期、源（源氏）は白色の旗、平（平氏）は赤色の旗を使って戦っていたことが、ハコネウツギの花の色から想像できるということでその名がつけられたようです。

このハコネウツギは、旧吉野北小学校で植わっていた木の枝を切り、挿し木して育てたものです。無事に根が生え、葉を茂らし、花を咲かせるまでに成長しました。

ハコネウツギの鉢の隣には、アジサイの鉢を置いてあります。旧吉野小学校で植わっていたアジサイを同じように挿し木にして育てたものです。アジサイはこれから花を咲かせようとたくさんのつぼみをつけています。吉野町内には、アジサイがたくさん植わっている場所がありますね。

「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。これは、ノートルダム清心女子大学名誉教授を務めた渡辺和子さんの言葉です。「与えられた環境や状況を諦めたりすることなく、自分の可能性を最大限に生かして、自分らしさを精一杯表現して、あざやかに輝くためにベストを尽くしましょう。」という意味です。

置かれた場所でベストを尽くしていても、どうしても花を咲かせることが難しいときもあります。「どうしても咲かないときは、無理して咲かなくてもいい。その代わりに根を下へ下へと降ろして、大地に大きく根を張るのです。大地をがっちりと受けとめる根から養分を吸収して、次に花が咲くそのときに備えるのです。そして、そのときが来たら、一気に大きく、美しく咲き誇りなさい。」と、渡辺和子さんは続けて述べています。

とても前向き（ポジティブ）な、力強いメッセージですね。

あなたが、一生懸命咲かせたあなたの花。一生懸命のあなたが、これから咲かせようとしている花。一生懸命を積み上げたあなたが選んだ行動が、あなたらしい花が咲くことにつながるはずです。日々の努力を惜しまず、今、目の前にあることと正面から、しっかりと向き合ってください。私も向き合います。